

令和7年度 埼玉県高等学校ソフトテニス東部支部大会団体戦の部（夏季東部地区リーグ戦）

男子団体 令和7年8月21日(木) [学校会場]

女子団体 令和7年8月21日(木) [学校会場]

【競技上の注意】

1. 競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って、3ペア編成点取り法の団体戦で行う。各マッチは7ゲームで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「赤エム」・女子「KENKO」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。両チームの挨拶終了から1分を目安として、第1対戦のペアが集合となるように対応する。

2. 進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいチームが本部席側を使用する。
- (2) 試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (3) 所定のオーダー票に監督名、選手のフルネームを対戦順に記入する。オーダーの交換は、本部前で行う。
- (4) 全ての対戦で、第3マッチまで行う。
- (5) 進行の状況によっては、2面または3面展開で行うことがある。
- (6) 勝者のチームは試合終了後、速やかに採点票を本部へ提出する。

3. 審 判

- (1) 審判を行う際は公認審判員徽章を左胸に着用する。
- (2) 審判は、本部が指定したチームが行う。
- (3) 審判は、採点票の各校のオーダーと選手名を確認して対戦を始める。試合終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝者に勝者サイン欄にサインさせ採点票を渡す。

4. そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者・部活動指導員は、会場内では必ずIDカードを着用する。団体戦では、監督が1名ベンチに入り、指導・助言は監督のみ行うことができる。監督は、2面展開はコートとコートの間、3面展開は中央のコートに位置する。ただし中央のコートが先に終了した場合は、どのコート（監督席）にも移動できるものとする。
- (2) 部旗等の掲揚は、許可された場所のみとする。
- (3) 会場内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (4) 会場内での指定された場所でのみ、持ち込みテントの設営を許可する。
- (5) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (6) 水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。